



お客さまとともに「ふるさと多摩」の未来へ



TAMASHIN REPORT 2014.6

たましんレポート 6月期

[平成26年4月1日～6月30日]

多摩信用金庫



理事長 **ハ本 敏郎**

理事長からのごあいさつ

日頃より<たましん>をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。平成26年4月から6月までの私たちの取り組みと結果をご報告いたします。景気は回復の兆しが見えてきているものの、いまだ不透明な経済環境のなか、事業者の皆さまや個人のお客さまの課題を解決し、地域の活性化に取り組んでまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

預金・貸出金について

預金は665億円増加しましたが、貸出金は108億円減少しました。

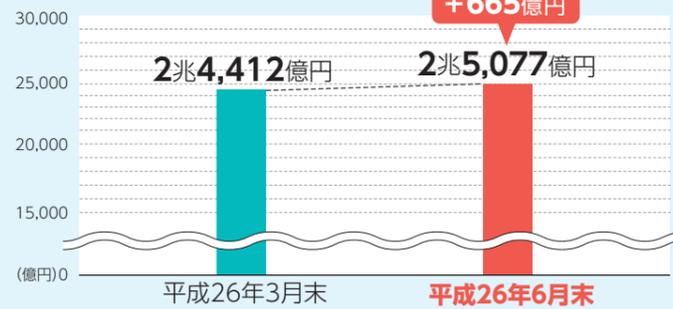
預金積金残高は、3月末より665億円増加し2兆5,077億円となりました。

貸出金残高は、地域の皆さまが抱える課題の解決に積極的に取り組んだものの、3月末より108億円減少し、9,945億円となりました。内訳をみると、事業性のご融資は43億円減少し、個人のお客さまのご融資は65億円の減少となっています。*

今後もさらに数多くのお客さまの課題解決に取り組んでまいります。

※個人のお客さまへのご融資には、個人事業所向け住宅資金・消費資金等が含まれます。たましんレポート2013までの算出方法とは異なります。

◆預金積金残高



◆貸出金残高



損益について

業務純益は15億円、当期純利益は8億円となりました。

業務粗利益は、貸出金の減少や有価証券利回りの低下などにより、前年同期比2億円減少の90億円となり、経費、一般貸倒引当金繰入額を控除した業務純益は、前年同期比2億円減少の15億円となりました。

また、臨時損益は、個別貸倒引当金繰入額の増加などにより、前年同期比1億円の減少となりました。

その結果、経常利益は前年同期比3億円減少の12億円、当期純利益は前年同期比2億円減少の8億円となりました。

◆損益の状況

(単位:百万円)

科目	平成25年 6月期 (平成25年4月1日 ~6月30日)	平成26年 6月期 (平成26年4月1日 ~6月30日)	増減額
業務粗利益	9,256	9,021	△ 235
うち資金利益	8,590	8,346	△ 243
うち役務取引等利益	503	501	△ 2
一般貸倒引当金繰入額	△ 27	△ 8	18
経費	7,510	7,480	△ 29
業務純益	1,773	1,549	△ 224
コア業務純益	1,609	1,459	△ 150
臨時損益	△ 170	△ 302	△ 131
うち個別貸倒引当金繰入額	747	902	154
経常利益	1,601	1,245	△ 355
当期純利益	1,030	809	△ 221

※貸倒引当金については、平成26年6月末の各債務者区分ごとの残高・分類額に平成26年3月末の実績率を乗じて算出しております。

有価証券について

資金運用については、各種リスク管理を行ったうえで国内の債券を中心に安定した運用を心がけています。

国内の債券を中心に株式や外国証券等に分散投資したポートフォリオを構築しています。

株価が上昇したことに加え、引き続き国内金利が低水準で推移したことにより、保有有価証券の評価益は213億円になりました。

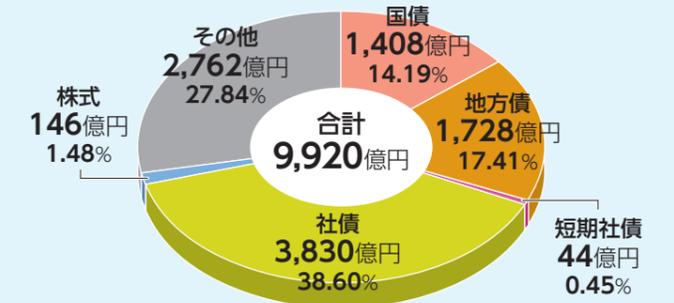
※1 有価証券の種類別残高は期末日における取得原価等であり、貸借対照表計上額と異なります。

※2 有価証券の評価差額は、期末日における取得原価等と時価等の差額です。

※3 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

◆有価証券の種類別残高内訳

(平成26年6月末現在)



◆有価証券の評価差額

(単位:億円)

		平成26年 3月末	平成26年 6月末		増減
		評価差額	取得原価等	時価等	
有価証券	株式	46	146	201	55
	債券	98	7,011	7,122	110
	その他	38	2,762	2,810	47
合計		183	9,920	10,134	213

不良債権について

不良債権比率は7.00%となりました。

金融再生法開示債権額のうち正常債権を除く額は、701億円となり不良債権比率は7.00%となりました。

前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、解決することが、たましんの目指す不良債権への取り組みです。今後もお客さまの業況のさらなる改善に向けて、より一層の課題解決に全力で取り組んでまいります。

※1 金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、当金庫が保証する私募債を対象にしています。

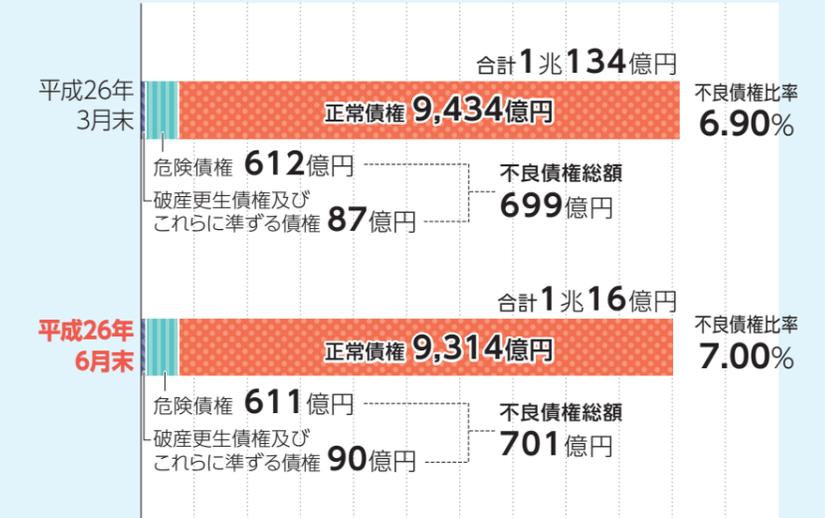
※2 債権残高は、倒産・延滞や決算期の到来等の事象の発生の都度、実施された自己査定結果に基づいています。

※3 自己査定で無価値または回収不能と判断された債権については部分直接償却予定額として、平成26年6月期の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」から、9億円を控除しています。

※4 要管理債権の残高はありません。

◆債権総額と内訳

(億円) 0 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 6,000 7,000 8,000 9,000 10,000 11,000 12,000



たましんの平成26年6月末の不良債権は701億円ですが、このうちの78.95%は担保・保証や貸倒引当金によって保全されています。残りの21.04%にあたる147億円についても、自己資本により、100%カバーされています。

TAMA創業支援シンポジウム

多摩大学と運営する創業支援センターTAMAでは、5月17日創業予定者のニーズや課題をテーマに、「TAMA創業支援シンポジウム」を開催し、創業支援機関や自治体の担当者70名が参加されました。今後も、より効果的な創業支援活動を実践できるよう取り組んでまいります。



TAMA創業支援シンポジウム
パネルトーク

後継者育成塾

明星大学と連携し、多摩地域の次世代ビジネスリーダーを育成することを目的に、「TAMA NEXT リーダープログラム7期生」を開講しました。また、調布市と連携し、「調布市後継者塾第2期生」を開講しました。多摩地域の次世代経営者との関係づくりを通じ、後継者の育成に取り組んでいます。



TAMA NEXT リーダー開講式

遺言・相続のご相談

すまいるプラザでは、高齢化の進展や平成27年1月からの相続税の税制改正に伴い関心が高まっている遺言・相続に関するセミナーを18回開催し、延べ213名の方にご参加いただきました。



すまいるプラザ

たましんトラベルサークル

5月12日から7月18日にかけてたましんトラベルサークル「伊勢神宮“新宮参り”と長良川の鵜飼い」を催行しました。732名のお客さまにご参加いただきました。



伊勢神宮

西東京市と連携協定締結

4月18日、西東京市内の産業の振興、活性化を図ることを目的に、西東京市と「産業振興に向けた支援に関する包括協定」を締結しました。産業ニュースの発行や、経営力の強化・人材育成のセミナーの開催とともに、施策や事業の検討を行っています。



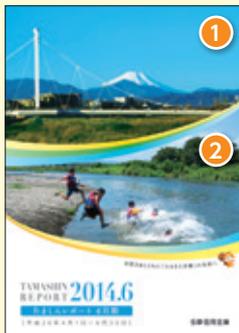
締結式

商店街活性化

6月30日、商店街と連携した地域活性化を考えている事業者、創業やコミュニティビジネスを考えている方などを対象に、経済産業省平成25年度補正予算「地域商店街活性化事業」(にぎわい補助金)の説明会を開催し、21団体が参加されました。



にぎわい補助金説明会



ふるさと多摩 ~水辺のあるまち~

日野

日野市長 大坪冬彦

かつては、多摩の米蔵といわれるほど米づくりが盛んであった日野市ですが、現在は果樹と野菜の生産が中心の都市農業のまちとなっています。市内には、多摩川・浅川から水を引く用水路が網の目のように流れ、日野市の農業を支えてきました。その長さは116kmにも及びます。日野市はこれまで、「緑と清流」を目指すまちづくりがおこなわれてきました。その到達点として「すぐ手の届くところに水や緑がたくさんあります」という今の日野市の姿があります。これから10年後、20年後、そして50年後の日野市がどのように表現されるか楽しみであります。

- ① 自転車・歩行者専用の吊橋「ふれあい橋」は、日野有数の富士見スポットとなっている。
- ② 「浅川」は、地域の子どもの自然体験や学習の場として親しまれている。

たましんレポート
2014年6月期
多摩信用金庫

〒190-8681
東京都立川市曙町2丁目8番28号
TEL:(042)526-1111(大代表)
http://www.tamashin.jp

発行:平成26年8月

本誌に関するお問い合わせは

お客さま照会センター
フリーダイヤル:0120-187-329

たましんホームページでも本誌やたましんに関するご意見を承っております。

※RISURUはたましんのイメージキャラクターです。

©2003, 2014 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G551537



お客さまの幸せづくり
たましん